

(問い合わせ先)
令和6年2月19日
農林水産局畜産課
担当者：小川
内線：3603
電話：082-513-3603

重大な動物感染症（アフリカ豚熱）に関する防疫演習の実施について

令和6年2月19日
畜産課

1 要旨

重大な動物感染症であるアフリカ豚熱は、現在、韓国で発生しており、日本への侵入リスクが最大限に高まっています。

国内への侵入及び流行は、野生いのししを介して広がることが想定されることから、野生いのししにおけるアフリカ豚熱を疑う事例を確認した際の防疫措置の手順について、関係者間で共有し、必要な体制について検討するために本演習を実施します。

2 開催日時及び会場

令和6年2月22日（木） 午後1時15分から午後3時30分まで
県立総合技術研究所畜産技術センター圃場19区（庄原市七塚町5584）

3 研修内容

県内の草地でアフリカ豚熱を疑う野生いのししの死体が発見された場合の現地の対応を共有、意見交換を行います。

- (1) 死亡個体発見場所への資材の搬入
- (2) 死亡個体周辺の消毒、検体の採取（口頭説明のみ）
- (3) 死亡個体の処理（発酵消毒、焼却場への運搬等）
- (4) 発見場所周辺の封じこめ作業（口頭説明のみ）
- (5) その他

4 演習及び出席状況（予定）

時間	内容
13:15～13:30	開会・説明
13:30～15:00	実地演習
15:00～15:30	意見交換・片づけ
15:30	閉会

5 参集範囲

県畜産事務所、（一社）広島県畜産協会、県畜産課、中国四国農政局

6 その他

この演習は公開とします。また、演習終了後に取材対応を行います。

アフリカ豚熱（ASF）とは

- ・国内に侵入している豚熱（CSF）とは異なるウイルスにより引き起こされる伝染病
- ・豚熱より致死率が高く、死体への残存性が長いとされている
- ・初発の防疫措置として、感染個体（死体）をすみやかに、かつ確実に処理することが求められている